

Crescendo

MEDIKIT ARTS CENTER くれっしえんど

vol.131
2018 8月

今 けんげき 25フェス KENGEKI 25 FES



目次

大友良英 Special Interview
出た音は、全部受け入れるからー

Premium Select Concert #10
ハバネラSQ×ブルーオーロラSQ

栗コーダーカルテットwith
ビューティフルハミングバード

こどももおとなも劇場#3
座・高円寺レパートリー『ピノッキオ』

メディキット 県民文化センター
MEDIKIT ARTS CENTER



けんげき25フェス
大友良英 について聞いてオーケストラ



Premium Select Concert #10
「サクソフォンを聴く〜 Quartet X カルテット=∞の音々〜」



栗コーダーカルテット with
ビューティフルハミングバード



こどももおとなも劇場#3
座・高円寺レパートリー『ピノッキオ』

けんげき 25フェス

KENGEKI 25 FES

宮崎県立芸術劇場は今年、開館25周年を迎えます。25周年を記念して、11月17日(土)・18日(日)に3つのホールと練習室を使った一大イベントを開催!

大友良英 with てげてげオーケストラ

“てげてげ” = 大概。適当。
例文: 「てげてげでいっちゃが」→「大体でいいよ」

“けんげき25フェス”のメイン・イベント、「大友良英withてげてげオーケストラ」は、楽器の演奏経験などは一切不問。音の出るものであれば何でも大歓迎の、誰でも参加できるオーケストラ。あなたも大友良英さんと一緒に一期一会の音を創ってみませんか?

子どもたちに自由にやっていいよって言うと、本当に外に遊びに行っちゃう。そりゃそうだよな、って。こっちは「そもそも自由ってなんだ」とか「ここで一緒に音を出すってどういうことだ」とかっていう根本的なことを考えさせられるんです。これが本当に面白かった。それだけじゃなく子ども達の演奏もね、実際に予想もつかないことになる。こっちが向こうに教えるんじゃないって、むしろこっちが本気で勉強になりました。この経験が一大転機で、自分の音楽は、ここで変わったと思っています。

ワークショップでは、どのようにステージづくりを?

毎回、来た人で考えています。事前にステージを考えちゃうと、そこに来た人を当てはめるだけになる。そうじゃなくて、来た人がどんな人なのかを見てから、ステージをどう作っていくかを考えていくのが自然な流れでしょ。今の社会ではほとんどの場合、「ステージはこうですからこうしてください」ってなりがちなんですけど、音楽やワークショップでは、その人でどうするかを考えていく方が絶対に面白い。それが僕にとっての作曲。音楽の面白いところって、数学みたいに正解があるわけじゃないから、そもそも失敗はない。瞬間的に「あれ?」って思うことがあっても、前後の関係で、それが面白いものになる可能性もあるんです。一緒にやる人には「出た音は全部受け入れるから」っていつも言っている。そのまんまでいい。

どんな楽器で参加したらいいでしょうか?

楽器ができる人はできる楽器を持ってきてほしい。例えば高校の時にやっていただけ15年もやっていないトランペットが押し入れにある人はそれでもいいし、吹いてみ

て音が出なくてもいい。“ふー”って吹く音しか出なければ、それでもいいんです。鍋でもやかんでも、自分で家の中にあるものを叩いて、これがいい音出るんだって思ったら、それを使ってもらってもいいし、草笛が得意なら草笛でもいい。本当に音が出るものであれば何でも大丈夫です。

今までで一番印象に残っている楽器は?

机かな。以前、福島ワークショップで机を持ってきた人がいて、その人は本業が大工で、食卓のテーブルくらいの大きさのものを作ってきたんです。そこに空洞を作って音を鳴らすようにしたり、引き出しを開けるとじゃらじゃら音が出たり。見た目は最高で、「あの人、机で何やっているんだ」って。でも、見た目のデカさの割に、意外と音が小さいという大問題があったけどね(笑)。

最後に、大友さんが思ういい音楽とは?

いい音楽! えー、究極の質問ですね。僕は、音楽は音楽だけで価値が決まるわけではないと思ってます。その人にとってその音楽が生きれば、いい音楽だって思うんですよ。たとえば、母親の味は、他の人にとっては意味をもたなくても子どもにとっては最高の料理でしょ。いくら高級レストランのシェフがいい料理を作ったところで、母の味にはかなわない。音楽も同じです。演奏する人や聴く人との関係の中で何が生まれるかが重要なんです。「この曲をやったら“いい音楽”」みたいな話ではなく、だれでも参加できるような音楽の場を作るためにはどんなふうに音楽を作っていけばいいか、そこからゆるく考えた方が案外いい

Profile

大友良英

おおとも よしひで
音楽家
1959年横浜生まれ。10代を福島市で過ごす。即興演奏やノイズ的な作品からポップスに至るまで多種多様な音楽をつくり続け、その活動範囲は世界中におよぶ。近年は「アンサンブルズ」の名のもと、さまざまな人たちのコラボレーションを軸に、障害のある子どもたちとの音楽ワークショップや一般参加型のプロジェクトにも力をいれる。2011年の東日本大震災を受け、プロジェクト FUKUSHIMA! を立ち上げるなど、音楽におさまらない活動でも注目される。2013年、朝の連続ドラマ『あまちゃん』では音楽を担当。現在来年の大河ドラマ『いだてん』の音楽を製作中。

© 佐藤類

音楽が生まれるんじゃないかな。宮崎弁の「てげてげ」って感じですかね。

ありがとうございます。

実は、「てげてげオーケストラ」と命名したのは大友さん。

「てげてげオーケストラ」って名付けてもいいんじゃない? 僕がやるオーケストラは、やる事が決まっているわけではなくて、一人一人がそのままできることで音楽にする。まさに「てげてげ」って感じで、楽器ができる人も、初めて楽器を持つ人も、その人なりの演奏ができるようにオーガナイズ(交通整理)していくのが俺の仕事。人数が増えれば増えるほど、音楽になっていく可能性が増えるので、たくさん来てもらえると嬉しいですよ。

巻頭コラム

Column

誰が劇場の新たな応援団になりますか? ..?

この11月に25周年を迎える芸術劇場。さまざまに評価をいただきつつも、私のところにはご意見・注文が多々寄せられます。多いのは駐車場対策など構造的な課題ですが、最近気になっているご指摘が「新たな応援団をどうつくりませんか?」というものです。

これまでの劇場は熱心な応援団の皆さまのおかげで成り立ってきました。まず他ではお目にかかれない「タキシード倶楽部」。宮崎のオジサンたちが着飾って集まり、演奏家たちと親しく交流して彼らを宮崎のシンパにしてきました。もう一つが「ボランティア会」です。お客様の多いコンサートは彼らの働きなしにスムーズな運営は困難でした。毎月お願いしてきた大量の郵便物の発送や、演奏会当日の駐車場案内やお客様の誘導など…雨の日に彼らがカッパを着て走り回る姿に頭が下がること度々でした。今年23回目の音楽祭を終えて「ボランティア会」は活動をおやめになることが決まり、「タキシード倶楽部」も正装でお見えになるメンバーはいなくなりました。中核的な役割を果たしてこられた彼らがこれまでと同じようには活動できない時期にきたということです。

25年という歳月は間違いなく関わっている人たちの高齢化の年月でもあります。スタート当初に40代~50代だった方たちが今は60代~70代になっています。お読みいただいている劇場友の会「くれっしえんど」の会員数もこの数年徐々に減り続けています。「新たな応援団をどうつくりませんか?」という指摘は、そうした現状をどう分析し、どこにどう新しい劇場の魅力を開き出し、仲間を増やしていくかという問いかけです。

しかし25年という歳月は、年若いだけでなく成長の時間でもあるはずですよ。その意味で、私は音楽祭が第1回から続けてきた「子どものための音楽会」に何がしかの可能性を感じています。県内の小学校6年生の子どもたちを招待し続けて、この数年は毎年約3500人にクラシックのオーケストラ演奏を聴いてもらっています。始まった頃に12~13歳だった少年少女が今は、30代の半ばから後半の世代です。つまりかつてスターンホールで初めてクラシックの演奏を聴いた人たちのお子さんが小学生になり、まもなく音楽祭の「子どものための音楽会」にやってくる…25年という時間の積み重ねがそれを可能にしたのです。そういう親たちに声をかけ「もう一度お子さんと一緒に聴きに来ませんか?」というコンサートから始めてもいいのではと考えています。アイザック・スターンさんが始めた演奏会が「子どものための…」に加えて「親子のための…」を生み出し、そこで劇場に足を運んだ「家族」が中心になって次の25年の「応援団」が育っていかないだろうか…。

公益財団法人宮崎県立芸術劇場 理事長 佐藤寿美

Special Interview

指揮・大友良英さんにインタビュー

出た音は、全部受け入れるから

NHK『あまちゃん』の音楽で話題を呼んだ大友良英さんが宮崎にやります! “けんげき25フェス”では、県内3か所で行うワークショップ参加者(300名以上!)とコンサートを開催。この何が起きるか分からない巨大即興オーケストラを率いる大友さんに、お話を伺いました。

小さい頃から音楽が好きだったんですか?

小さい頃、週末になるといつも親戚一同集まって宴会。みんなで歌ったり、踊ったり。本当、音楽が好きでした。だけど、学校で音楽の授業を受けた途端に、この世で一番嫌いなのが音楽になってしまった。僕、歌が下手だったんですよ。歌のテストの時も、黙って下を向いていた。まさか自分が音楽の仕事をするなんて、全く思っていなかった。

音楽を仕事にしたいと思ったきっかけは?

学校の音楽は死ぬほど嫌いだったんだけど、ラジオでポップスや歌謡曲を聴くのは、本当に大好きでした。深夜放送で、海外のポップスやロックを聴きだして。音楽だけじゃなくて、男が髪を伸ばしたりとか、自由なものにすごく憧れてました。それでロックとかにどんどんハマっていったし、高校生くらいからはジャズ喫茶に行くようになって。そこで見たフリージャズの演奏が、意味は分からないけれど格好良く見えたんですよ。まさに自由って感じ。同時にちよっとモチたいって気持ちも出てきて、学園祭のためにギターを買って、高校3年生くらいになると、プロになりたいって思い始めました。

ワークショップを始めたのは、いつくらいからですか?

始めたのは2000年代からだから、もう10数年になります。本気になったのは2005年に「音遊びの会」という知的障害を持った子どもたちのグループに誘われた時。それまでは、アスリートみたいに国際的なフェスティバルに出るとか、そういうところとことん音楽をやっていたんです。だけど、それとは全然違う面白さだった。

具体的にどんなところに面白さを感じたんですか?

例えば、プロのミュージシャンと即興をやっている予想できないことがあっても、それは音楽の範囲内でのこと。演奏中に突然外に行っちゃうとかはないでしょ。でも、



公演情報

けんげき25フェス

大友良英withてげてげオーケストラ

2018年11月18日(日) 14:00~15:00
アイザックスターンホール

【ワークショップ スケジュール】
2018年11月3日(土) 延岡総合文化センター 小ホール
11月4日(日) 都市総合文化ホール 中ホール
11月17日(土) メディキット県民文化センター イベントホール
※11月18日(日)の本番にむけたワークショップです。
3か所の内、いずれか1回にご参加ください。
※各会場定員200名

詳しくはチラシまたは劇場HPをチェック!
メディキット県民 検索

11月17日(土)・18日(日)は“けんげき25フェス”!

開館25周年を記念して開催される一大イベント「けんげき25フェス」。「大友良英 with てげてげオーケストラ」以外にも、こんなイベントが!

劇場のピアノを弾いてみよう!
みんなで弾こう! 試奏会&リレコンサート
普段見られない舞台裏を解説!
バックステージツアー

くらのみのなかで物語を楽しもう
くらのみシアター
劇場の練習室をのぞいてみよう
たいけんゾーン



サクソフォン八重奏による
想像を超える無限大の響き

Premium Select Concert #10

「サクソフォンを聴く

世界最高峰の実力を持つ
ハバネラ サクソフォン・カルテット
Quatuor Habanera



～Quartet×カルテット=∞の響き～

ジャンルに制限のないアンサンブル
ブルーオーロラ サクソフォン・カルテット
The Blue Aurora Saxophone Quartet

4種類の
サクソフォンについて、
「ピエ・ドゥ・プール」の皆さんに
お話を伺いました！



財津博文さん 大元 恵さん 細山田晃さん 後藤秀一さん
(バリトン) (アルト) (ソプラノ) (テナー)

1996年4月結成。メンバーはそれぞれ学生時代の先輩後輩の關係で、サクソフォンアンサンブルの楽しさや、可能性を探究し活動している。吹奏楽連盟主催のアンサンブルコンテストに出場し、これまでに全日本アンサンブルコンテストに九州代表として9回出場。2007年、九州では初めて一般の部において3年連続出場を達成。第22回国民文化祭「とくしま2007」、第2回東アジア現代音楽祭出演。県内外の式典やパーティ、演奏会に多数出演。

ブルーオーロラSQや平野さんの公演が行われている
“木城えほんの郷”さんからメッセージ

平野さんは以前から木城えほんの郷でよく演奏をしてくださっていて、2011年にはブルーオーロラSQの立ち上げ公演が行われました。演奏された曲は、木城えほんの郷に合わせて選曲されたそうで、お客様からも大好評でした。昨年のSQ演奏会でも、お客様から「来年もぜひ！」という声が多く、今年もまた10月13日に木城えほんの郷に4人で来てくれます。

11月の演奏会では、劇場のコンサートホールで、しかもハバネラSQとの共演なので、平野さんがどのような演奏をされるのか、とても楽しみです。

木城えほんの郷 見湯郡木城町石河内475
TEL 0983-39-1141

細山田晃さん 【楽器について】 ソプラノ
(ソプラノ) サックスは、カルテットの中で一番高い音を出し、主に旋律を演奏することの多い楽器です。音色は艶やかで、明るいクリアな音色が特徴です。弦楽器のような繊細な音色から、金管楽器のような力強い音まで出すことのできる、幅広い表現力を持っています。

**宮崎を拠点に活動するサクソフォン・カルテット
ピエ・ドゥ・プール**

【公演について】 両SQの演奏が一度に聴ける機会はめったになく、八重奏が、どんな音、どんな演奏になるかワクワクしています。

大元 恵さん 【楽器について】 アルト
(アルト) サックスは、女性の声に近い音域です。艶のあるやわらかい音色が一番の魅力で、芯のある力強い音から、やわらかい音まで、さまざまな音色を使い分けます。演奏上では、場面毎のメロディと伴奏の切り替えを感じながら演奏するのも、楽しいパートです。

【公演について】 音色や技術力の高さはもちろん、四重奏にはない八重奏の迫力や表現の幅を生で聴けるのは、とても楽しみです。

後藤秀一さん 【楽器について】 テナー
(テナー) サックスがサクソフォンの原形と言われています。ジャズの世界では、ジョン・コルトレーンやソニー・ロリンズが愛用しています。男性的な重厚感のある音であったり、反対にやわらかく優しい音も奏でることができます。訴える力のある音色が魅力です。

【公演について】 宮崎ではめったに聴くことのできないコンサートです。サクソフォン奏者の方はもちろん、他の楽器や興味のある方はぜひご来場ください。

財津博文さん 【楽器について】 最低音を
(バリトン) 担当し、主に伴奏を演奏することが多いため、アンサンブル全体のサウンドの幅や、ドライブ感を支配することができます。密かに優越感に浸れるパートです。

【公演について】 中世ヨーロッパの響きを思わせるサウンドを奏でることができる素晴らしい方々です。それでいて、勿論華やかさ、ユーモアまで表現してくれます。素晴らしい公演になること間違いなしです。



©イザワヒロミチ (CAPSULEOFFICE)

ブルーオーロラ サクソフォン・カルテット
平野公崇 (ソプラノ)

正統派クラシックから、即興、ジャズまで、幅広いフィールドを縦横無尽に駆け抜ける実力派サクソフォニスト。東京藝術大学卒業後パリ国立高等音楽院で学び、在学中に J.M. ロンテックス国際コンクールを制し、日本人として初の優勝者となる。東京藝術大学、エリザベト音楽大学、東邦音楽大学、洗足学園音楽大学非常勤講師。フランスのアカデミー・ハバネラ講師。

劇場がいま一番聴いてほしいアーティストをセレクトしてお届けする“プレミアム・セレクト・コンサート”。シリーズ第10弾に、ハバネラSQとブルーオーロラSQの2団体を迎え、サクソフォン八重奏という珍しい形態の演奏をお楽しみいただけます。今回は、ブルーオーロラSQの“サクソ界の革命児”平野公崇さんからのメッセージをご紹介します！

♣ 八重奏の魅力について

サクソフォンのカルテット（四重奏）という編成は、独奏では味わえないとても美しく魅力的な響きで、今なおファンを魅了し続けています。しかし、4人というのは、和音を作るための必要最低限の人数です。より和声的に複雑になるロマン派以降の作品では、その魅力的なハーモニーを得るためにより多くの人数が必要になりますが、今回の8人という人数が、それを可能にしてくれます。カルテットの倍のダイナミックレンジを持ち、各楽器のデュオが4組存在する、八重奏の奏でるまさに無限大の響き。

かねてから是非やりたいと思っていた八

重奏公演を、世界屈指のカルテットとの共演によって実現できるのは、この上ない喜びです。

♣ 今回の公演の聴きどころについて

各カルテットはそれぞれ特徴が違い、ブルーオーロラはジャンルの広さと即興を多用した演奏、ハバネラは「これぞフランス!!」というスタイリッシュで明るいサウンドと本格的なクラシックが魅力です。

この両カルテットの演奏と、二つのカルテットが合体した八重奏が聴けるチャンスは、なかなかありません。8人が揃うこの企画は実現が難しく、数年に一度しかできませんので、どうかお聴き逃しなく！

平野さんが語るハバネラSQ！

ハバネラSQの皆さんとパリ国立高等音楽院で同窓生だった平野さんに、メンバー一人ひとりの印象を伺いました！



クリスチャン・ヴィルトゥ (ソプラノ)

名実ともにハバネラの顔であり、リーダーです。普段話す声も美声で、そのせいかとにかく音が美しい。私は未だ彼より魅力的なサクソフォンの音を知りません。



ファブリツィオ・マンクーゾ (テナー)

メンバー唯一のイタリア人、正確にはシリア人です。歌も上手いし、ご機嫌のリズム感も持っています。メンバーを包み込む豊かな人間性は、その歌心にも表れます。



スィルヴァン・マレズー (アルト)

情に厚い人間です。勿論サクソフォンも抜群に上手い。最近では新たな境地を見つけたのか、進化した美しい音を手に入れ絶好調です。



ジル・トレソス (バリトン)

若干20歳でボワチエ（中規模都市）の文化芸術の後見人を任される逸材で、毎年夏には、大規模なフェスティバルを主宰するプロデューサーでもあります。演奏も勿論抜群。柔らかなバリトンの音色は時にチェロを思わせます。

公演情報

Premium Select Concert #10

「サクソフォンを聴く ～ Quartet × カルテット = ∞ の響き～

2018年11月3日 (土・祝) 開場13:30 開演14:00
アイザックスターンホール

【出演】 <ハバネラ サクソフォン・カルテット>
クリスチャン・ヴィルトゥ、スィルヴァン・マレズー、
ファブリツィオ・マンクーゾ、ジル・トレソス
<ブルーオーロラ サクソフォン・カルテット>
平野公崇、田中拓也、西本淳、本堂誠
【曲目】 C.ドビュッシー：ベルガマスク組曲 (ハバネラSQ)
A.ポロティン：交響詩「中央アジアの草原にて」 (八重奏)
B.バルトーク：弦楽のためのディベルティメントSz.113 BB118より 第3楽章 (八重奏)
N.リムスキー＝コルサコフ：交響組曲「シエララザード」作品35より (八重奏) ほか
【料金】 全席指定 一般3,500円[会員3,100円] U25割1,500円
親子割4,000円 ペア割6,000円[会員5,400円]

栗コーダーカルテット with ビューティフルハミングバード

『ピタゴラスイッチ』の音楽で、みんなのココロをつかんだ“栗コーダーカルテット”が、“ビューティフルハミングバード”を率いてやってきます！その5人からのメッセージをご紹介します

宮崎県では過去3回('10、'12、'14)公演を行っていて、毎回コンサートの前後の滞在を延ばして県内のいろんなところを観光して楽しんでいます。今回もちょっと前に宮崎入りして満喫しようと計画。町も海も人も素晴らしい！

三者三様のユニークな音楽性を持ち寄って、誰にも真似でき（そうではない世界を作っている栗コーダーカルテット。一緒に音を出していると、私たちは新しい世界の入口に立つことができます。そして音楽の純粋な楽しさを噛みしめるのです。大先輩なのに決していられない栗コーダー兄さん。むしろ可愛い面ばかり見せてもらっている気がします（みんな、おつよこちゃんなのです）。（笑）

宮崎のおだやかな気持ちのいい空気に包まれて、いつもの、否いつも以上の？気楽で愉快な5人の演奏をお聴かせできるかもしれません。どうかゆったりとお楽しみください。

ビューティフルハミングバードは、しっかり者の頼れる後輩で、ゆるぎない音楽軸を持った2人。みっちゃん（小林光子さん）の歌声は笛の音とじつじつとよく溶け合っし、栗コーダーの曲も5人で演奏すると、さらにカラフルで楽しい音になっていきます。この幸せな波形を心ゆくまでお楽しみいただけたらと思います。



栗原正己

川口義之

ビューティフルハミングバード
小林光子

ビューティフルハミングバード
タバティ

関島岳郎

今回のコンサートは、小さなお子さんでも楽しめる午前の部と、大人向けの午後の部、2回公演があります。けれど、それぞれの公演は、子どもも大人も楽しめる選曲になっています。午前の部は、お子さんが知っているかどうかを意識して選曲

していますが、大人向けのコンサートでも演奏するものばかりです。また、構成や楽器編成の変化でお子さんでも飽きないように組み立てています。そして、午後の部はたっぷりした曲やちょっと意外なカバーなど、音楽好きな方ならニヤリとする選曲になっていますが、もちろん小学生でも楽しめる内容です。どちらの公演も幅広いお客様に楽しんでいただけますので、安心してお越しください！

店内に栗コーダーカルテットの曲がよく流れている、“おおまえ布店”（宮崎市内）さんからコメントをいただきました！

栗コーダーカルテットの曲は、4年前に知り合いにすすめられて好きになりました。リコーダーの音が懐かしく、心地が良く、お店の雰囲気合っているのによく流れています。お客様からも、公演に行ったという話を聞きます。生演奏を宮崎で聴ける機会ですので、楽しみにしています。



大前真菜美さん

おおまえ布店 宮崎市清水3-8-7 日興ビル203
TEL 0985-71-0356

QRコードを読み取ると、演奏動画が見られるよ！



ピタゴラスイッチのテーマ



エーデルワイス

公演情報 | 栗コーダーカルテット with ビューティフルハミングバード

2018年9月15日（土） イベントホール

0さいから楽しむウキウキコンサート（60分公演）
開場10:30 開演11:00
【料金】 全席自由 小学生未満500円 小学生～高校生1,000円 一般2,000円 [会員1,800円]
※エリアセット券は売れました。

ゆったり癒しのアフタヌーン・コンサート（100分公演）
開場13:30 開演14:00
【料金】 全席自由 一般3,000円 [会員2,700円] ペア割5,000円 [会員4,500円]
U25割1,000円 親子割3,500円
※就学前のお子様のお入場はご遠慮ください。

2018-2019 演劇・ダンス
のびをする。循環。そして、ピノッキオ #3

ピノッキオ

イタリアの作家カルロ・コッローティが生み出した児童文学の名作『ピノッキオ』が、“こどもおとなも”楽しめる舞台作品となって登場します！

Photo by Jason Arney



「こどもおとなも劇場」シリーズ第3弾は『ピノッキオ』！東京都杉並区にある劇場、座・高円寺が毎年杉並区の小学4年生を招待して上演しているこの作品。演出をしているのは、物語が生まれた国・イタリアの演出家、テレーサ・ルドヴィコです。大工のジェットじいさんが大きな木の枝でつくった操り人形。その人形にピノッキオと名前をつけたとたん、人形は生きていくかのように動きだし、家を飛び出してしまう。自由になったピノッキオは、やりたい放題し放題。ある日とうとう道で会ったキツネとネコの甘い言葉に騙されて……。

テレーサは、どうしてこの物語を舞台作品にしたのか、次のように語っています。

わたしが生まれた国、イタリアの作家カルロ・コッローティが、100年以上前に書

いた『ピノッキオの冒険』。このお話は、当時から子どもたちが大好きなお話でした。どのくらい好きだったかという、子ども新聞で『ピノッキオ』の連載が終わった時に、子どもたちから「終わらせないでー!!!」という声がたくさん集まって、またお話の続きが始まったくらいに、好きだったので。

今では、世界中の子どもたちが好きなお話として知られています。

なぜ、みんなこんなにピノッキオのお話が好きなのでしょう？ ピノッキオは勉強がきらいで、遊ぶのが好き、がんばることよりさぼるのが好き、いたずらが好き。なんでもやってみなければ気がすまないし、だめって思っただけでもちよつとだつたらいいかな、なんて、心のゆるわくにくすぐまけてしまっし、そのために大好きな人とうそをついては反省する……。そう、そんな

こと、だれでも一度は考えたことがある。でもピノッキオは、たくさんの失敗や悲しみを繰り返しながら、世界を知り、人を知ることで、自分が本当に大切にしなければいけないことを見つけていきます。

その途中では、過去の自分とさよならすることもあるでしょう。見知らぬ世界に飛び込まなければならないこともあるでしょう。けれど、未来へ向かって変化することは、決して悲しいことでも、つらいことでもありません。それこそが、生きるという行為そのものなのです。

みなさんに、その勇気をもってもらえるように、わたしはこのお話を選びました。

テレーサ・ルドヴィコ

「物語の後ろで語られる、もう一つのお話について」
（座・高円寺のパンフレットより）



Profile
テレーサ・ルドヴィコ
Teresa Ludovico

93年よりテアトロ・キズメット（イタリア）で脚本、演出を手掛ける。シブブルな舞台と生の音楽、幻想的なヴィジュアル、ドラマティックなストーリー展開で、観る者の想像力をかきたてる舞台には、子どものみならず大人にもファンが多い。世界各国で称賛を浴びた『美女と野獣』は、イタリア国内で「子どもと青少年向けの演劇ベストワン（lo stregagatto賞）」を受賞。座・高円寺（東京都）開館記念につくられた『旅とあいつとお姫さま』は、毎年、東京都杉並区内の小学校4年生を招待して7年間上演し平成23年度児童福祉文化賞・舞台芸術部門を受賞。日本では他に『雪の女王』『にんぎょひめ』を演出。

舞台を瞬く間に「ピノッキオ」の世界へと変えていく、イタリア出身のルカ・ルツァによる美術もお楽しみに。



出演するのは、俳優、ダンサー、ミュージシャンなどさまざまな経歴を持った7人。誰がどんな役を演じるのでしょうか？ ちよつと思議な形や素材の衣裳も必見です。

舞台を鮮やかに彩る照明。ある時は幻想的に、またある時はにぎやかに、舞台上の世界をつくりだしていきます。



Photo by Jason Arney

こどもおとなも劇場
毎年、世界の名作物語を“こどもおとなも”楽しめる舞台作品にしてお届けするシリーズです。

公演情報 | こどもおとなも劇場 #3
座・高円寺レパートリー 『ピノッキオ』

2018年9月29日（土） 開場13:30 開演14:00 終演15:10（予定）
演劇ホール

【原作】 カルロ・コッローティ『ピノッキオの冒険』
【脚本・演出】 テレーサ・ルドヴィコ
【出演】 高田恵篤、KONTA、辻田 暁、森 ようこ、高橋優太、田中真之、黒須育海
【料金】 全席自由 一般2,500円 [会員2,300円] U25割1,000円 親子割3,000円

ディレクター
立山Dの
“ココ”に注目！

テレーサの作品は、身体表現と美術的アプローチがあざやか。誰もが知っている『ピノッキオ』がイキイキと生まれる瞬間をお楽しみに！

メディキット県民文化センター（宮崎県立芸術劇場） **自主事業公演チケット情報**

<p>9月1日(土) 開場18:30 開演19:00 9月2日(日) 開場13:30 開演14:00 イベントホール</p>	<p>トライアル・シアター2018 『麵屋文六の思案』 原作：岸田國士『麵屋文六の思案』『遂に「知らん」文六』 構成・演出：鳴海康平（第七劇場） 出演：井上大輔 片山敦郎 河野誠 黒田吉郎 重松希実 進藤綾乃 宮本日温 山口征善 山本美保 湯浅泰典 全席自由 一般1,500円 [会員1,300円] U25割1,000円 ※両日とも終演後アフタートークあり</p>	<p>チケット発売中</p>
<p>9月2日(日) 開場13:30 開演14:00 演劇ホール</p>	<p>反田恭平ピアノ・リサイタル 全国ツアー2018~2019 出演：反田恭平（ピアノ）</p>	<p>チケット完売</p>
<p>9月15日(土) 開場10:30 開演11:00 開場13:30 開演14:00 イベントホール</p>	<p>栗コーダーカルテット with ビューティフルハミングバード 0さいから楽しむウキウキコンサート (60分公演) 全席自由 小学生未満500円 小学生~高校生1,000円 一般2,000円 [会員1,800円] ※エリアセット券は完売しました。</p> <p>ゆったり癒しのアフタヌーン・コンサート (100分公演) 全席自由 一般3,000円 [会員2,700円] ペア割5,000円 [会員4,500円] ※前売りのみ U25割1,000円 親子割(小・中学生+一般) 3,500円</p>	<p>0歳から入場できるコンサート♪ チケット発売中 詳細はP5</p> <p>チケット発売中</p>
<p>9月29日(土) 開場13:30 開演14:00 演劇ホール</p>	<p>こどもおとなも劇場#3 座・高円寺レパートリー 『ピノッキオ』 原作：カルロ・コッローティ『ピノッキオの冒険』 脚本・演出：テレーサ・ルドヴィコ 出演：高田恵篤 KONTA 辻田暁 森ようこ 高橋優太 田中真之 黒須育海 全席自由 一般2,500円 [会員2,300円] U25割1,000円 親子割(4歳から中学生+一般) 3,000円 ※4歳未満のお子様の入場はご遠慮ください。</p>	<p>チケット発売中 詳細はP6</p>
<p>10月20日(土) 開場10:30 開演11:00 アイザックスターンホール</p>	<p>パイプオルガン プロムナード・コンサート vol.160 「オルブラ」 出演：土橋薫 伊豆謡子 全席自由 4歳以上500円 なかよしチケット700円 ※4歳以上2人1組、前売りのみ ※4歳未満のお子様の入場はご遠慮ください。</p>	<p>チケット発売中</p>
<p>11月3日(土・祝) 開場13:30 開演14:00 アイザックスターンホール</p>	<p>Premium Select Concert #10 「サクソフォンを聴く ~Quartet×カルテット=∞の響き~」 出演：<ハバネラ サクソフォン・カルテット> クリスチャン・ヴィルトウ スィルヴァン・マレズュー ファブリツィオ・マンクーゾ ジル・トレソス <ブルーオーロラ サクソフォン・カルテット> 平野公崇 田中拓也 西本淳 本堂誠 全席指定 一般3,500円 [会員3,100円] U25割1,500円 親子割4,000円 ペア割6,000円 [会員5,400円] ※前売りのみ</p>	<p>チケット発売中 詳細はP3-4</p>
<p>11月14日(水) 開場18:00 開演18:30 演劇ホール</p>	<p>ゲゲゲの先生へ 原案：水木しげる 脚本・演出：前川知大 出演：佐々木蔵之介 松雪泰子 水田航生 水上京香 手塚とおる 池谷のぶえ 浜田信也 盛隆二 森下創 大窪人衛 白石加代子 全席指定 S席7,000円 [会員6,300円] A席5,000円 [会員4,500円] U25割(S席)3,500円 U25割(A席)2,500円</p>	<p>会員発売 WEB先行9/2 10:00~17:00 電話・窓口・WEB9/8~ 一般発売9/16~</p>

Attention (ご注意)

- ◎記載情報は変更になる場合があります。 ◎割引サービスの詳細は、劇場HPをご覧ください。
- ◎当日券が出る場合は、一般チケットのみ500円増になります。※一部公演除く
- ◎託児サービス(有料・事前申込要)をご利用いただけます。※一部公演除く

劇場の
HPはコチラ!



国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭プレイベント 劇場開館25周年感謝祭 **けんげき25フェス** 詳細はP1-2

11月17日(土)、18日(日) メディキット県民文化センター

① **大友良英 with てげてげオーケストラ**
11月18日(日) 14:00~ 会場:アイザックスターンホール
出演：大友良英、てげてげビッグバンド、
てげてげオーケストラ (ワークショップ参加者)

<詳細はこちら>



② **みんなで弾こう! 試奏会&リレーコンサート**
11月17日(土) 会場:アイザックスターンホール
試奏会 10:00~12:00
リレーコンサート:開場13:30 開演14:00

<詳細はこちら>



③ **バックステージツアー**
11月17日(土) 13:00~
11月18日(日) <1>10:30~ <2>12:30~

④ **くらやみシアター**
11月18日(日) <1>開演10:30 <2>開演12:30
出演：黒木朋子 出演：片山敦郎 川越真也 他

⑤ **たいけんゾーン**
11月18日(日) 10:30~16:00

公演情報

チケット発売中

オペラシアターこんにゃく座
オペラ『おぐりとてるとー説経節「小栗判官照手姫」よりー』

10月21日(日) 開場13:30 開演14:00
演劇ホール

【台本・演出】立山ひろみ
【作曲・音楽監督】萩京子
【出演】大石哲史 富山直人 花島春枝 高野うるお 鈴木裕加 彦飯仁美
山本伸子 島田大翼 北野雄一郎 沢井栄次 林田和之(サクソフォン)
高良久美子(打楽器) 榊原紀保子(ピアノ)



オペラ『おぐりとてるとー』は、説経節「小栗判官照手姫」を原作にオペラ化した作品。閻魔大王とか、人喰い馬とか、大蛇なんかも出てきます。突拍子ないですね! 極彩色! 「説経節」というのは、日本の語り芸能の原点で、ととと、語る者と聴く者が、一緒に創っていったお話です。テレビとかない時代に、人々は説経節の話を聞きながら、笑い、涙を流しました。中世日本に生きる、「民衆」を物語の主人公にする事で、オペラ『おぐりとてるとー』は、今を生きる私たちに、直接語りかける、現代の「説経節」として生まれました。念願の宮崎公演です!!
宮崎県立芸術劇場演劇ディレクター 立山ひろみ (台本・演出)

全席指定 一般3,500円 [会員3,100円] U25割2,000円 ペア割6,000円

お問合せ

公益財団法人 **宮崎県立芸術劇場**
MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTER

〒880-8557 宮崎市船塚3-210
http://www.miyazaki-ac.jp

TEL.0985-28-3208 FAX.0985-20-6670
facebook随時更新中! 「フォロー」と「いいね!」お待ちしています。